

I. 専門学校へ進学するのに、大切なこと

1. 専門学校へ進学するのに、大切なことが3つあります。

① 何を学ぶかを明確にする

専門学校は専門的な知識や技術を学ぶところです。まず、何を学ぶか明確にしましょう。目的に合った学校を選びましょう。

② 必ずオープンキャンパスや学校説明会に行く

学校の立地や、施設・設備、機材など自分の学びたいことができるのか、自分の目で確認しましょう。学生の雰囲気も重要です。自分がともに学ぶイメージをもてることを確認しましょう。オンラインでの開催や予約制の学校もあるので、よく確認しましょう。

③ 進学する費用が用意できるか確認する。

専門学校でも初年度約130万円前後、2年目以降も100万円以上学校にかかります。さらに交通費や生活費もかかります。費用について保護者とよく話し合い、確認してください。

2. 学校を選ぶポイントは3つあります

① 就職先を確認する

専門学校はどこに就職できるかも重要です。自分がどんな業種にどんな職種で就職したいのかイメージし、それに近い就職先があるか確認しましょう。

② 国家試験等の合格率を確認する

看護師や美容師、技術者など分野によっては働くには国家資格が必要なものがあります。その学校の資格の合格率を確認しましょう。100%に近いことが理想です。

③ 施設設備の充実度を確認する

施設や設備、機材が十分でないと学ぶこともできません。オープンキャンパスや学校説明会で、満足できるか自分の目で確認してください。

3. 保育はさらに大事なことがあります。

★保育なら短期大学の方が、期間も短く費用も安いです。

- ① 今後就職を考えると、幼稚園教諭と保育士の両方の資格が必要になります。
- ② 短期大学ならこの2つの資格を2年間で取得できますが、専門学校ではそれができるのは聖ヶ丘保育専門学校と横浜高等教育専門学校の2校しかありません。
- ③ 他の専門学校は3年制とし、2年間で保育士の資格を取得し、さらに1年間短期大学の通信課程を受講し幼稚園教諭の資格を取得することになります。
- ④ 短期大学の受講料が別途かかり、負担も増します。

※本当に専門学校でよいか、もう一度検討を！

II 選抜方法について

1. 専門学校の選抜方法は4種類あります。

- ① AO入試（総合型選抜）
- ② 学校推薦型選抜（指定校・公募制）
- ③ 神奈川県商業教育振興会加盟専門学校特別推薦、特待生試験等
- ④ 一般選抜

2. AO入試（総合型選抜）について

（1）特徴

- ・ 学校説明会やオープンキャンパスへの参加が前提となっています。
- ・ 個別面談で学校に対する理解や適性をはかります。
- ・ 成績や出席の基準がないことが多いです。

（2）入試の流れ

- ① 入学の意志や適性が確認できたら、エントリー面接を申し込みます。
- ② エントリー面接では、出願の意志や学校に対する適性、学校が続くかどうかを確認されます。
- ③ エントリーが認められると、出願許可書が発行されます。まだ、合格ではありません。
- ④ 願書、調査書、出願許可書等を郵送する（これを出願という）と、合格通知が発行されます。

(3) スケジュール

- ・ 3月～6月の間に学校説明会やオープンキャンパスに3校以上参加し、比較してから志望校を決めます。
- ・ 6月からエントリー面接を申し込むことができます。ただし、三者面談が済むまで、申し込まないでください。学校と家庭で進路の方針の確認します。好条件を示しエントリーを急かす学校もありますが、利益優先の表れです。こちらを困らせるような不誠実な学校ですから、再検討をお勧めします。
- ・ 9月から出願できます。これは協定で決まっています。これ以前に出願させようとする学校は協定違反であり、やはり利益優先の学校です。通報しますので、担任まで連絡をください。

3. 学校推薦型選抜（指定校・公募制）について

(1) 学校推薦型選抜を利用するには、本校の推薦基準を満たしていなければなりません。本校の推薦基準については、進路の手引きをご確認ください。

(2) 学校推薦型選抜を利用するつもりでも、オープンキャンパス等でそのことを専門学校側に伝えておき、エントリーは済ませておいてください。エントリーすることで入学希望者にカウントされます。推薦が決まったら、その旨専門学校側に連絡することで枠を確保できます。

(3) 指定校推薦について

①指定校推薦は、上級学校が各高校に対し、基準や人数を示し、高校に推薦を依頼するものです。学校により、検定料の免除や入学金の免除・減免などが受けられます。

②出願時に、志望理由や将来（卒業後）の希望を提出することが多いです。

- ・ この学校を選んだ理由
- ・ この学校で学びたいこと
- ・ 卒業後はどんな仕事につきたいか

などについて、できるだけ具体的に書くことが必要です。また、指定の用紙の最後の行まで記入されていることが大前提です。意志を固めた人に希望してほしいです。

③指定校推薦は専願ですので、校内選考で決定したら変更や取り消しはできません。また、きちんと卒業する責任も生じます。その点は保護者の方もご理解の上で、推薦の希望を提出してください。

④指定校のスケジュール

8／3(月)指定校一覧発表

8／20(木)予備調査提出締切

8／27(木)本調査提出締切

希望票の提出は時間まで指定します。遅れたら受け付けられません。

9月初旬 校内選考 → 決定

10月～ 出願

11月～ 合否発表 入学金、初年度納入金納入

(4) 公募制推薦について

- ① 専門学校では、主に看護系の学校で行われている制度です。
- ② 上級学校が成績や出欠の基準を示し、その基準をクリアした人が受験できます。出願できる人数の制限はありません。
- ③ 専願の場合が多いです。その場合、他の学校の受験はできません。
- ④ 面接だけでなく、小論文やプレゼンテーション、作品提出等が課される場合が多いです。
- ⑤ 不合格の可能性もあります。

⑥ 公募制のスケジュール

本調査の提出は随時

10月～ 出願、試験

11月～ 合否発表 入学金、初年度納入金納入

4. 神奈川県商業教育振興会加盟専門学校特別推薦、特待生試験等について

(1) 神奈川県商業教育振興会加盟専門学校特別推薦（県商振）について

- ① 神奈川県商業教育振興会に加盟している専門学校が対象となります。
- ② 総合ビジネス科、普通科のどちらでも受けられます。
- ③ 基準は厳しいですが、入学金の減免は指定校よりこちらの方がよい学校もあります。
- ④ 志望校が該当している場合は、オープンキャンパスでの個別相談などで、専門学校側に希望することを伝えてください。専門学校側で適用するか判断します。
- ⑤ 県商振の希望の提出は、8月初旬です。指定校よりも早いのでご注意ください。

(2) 特待生試験について

- ① 専門学校では、先に出願を済ませ、合格を確定してから、特待生試験を受験する場合があります。
- ② 再度出願する場合が多く、調査書が必要になる場合もあります。入試要項で確認してください。

(3) その他の制度について

- ① 専門学校によっては、他の推薦制度があるかもしれません。入試要項で確認してください。

5. 一般選抜について

- (1) 看護系の専門学校では、一般選抜での受験が一般的です。
- (2) 面接や小論文だけでなく、国語、数学、理科、英語などの学科試験があります。2回に分けて実施されることもあります。
- (3) 一般選抜は各専門学校で異なるので、入試要項で確認してください。

Ⅲ. 学費について

(1) 入学前の費用について

- ①奨学金の受給が決まっても、受け取るのは4月からです。入学金や初年度納入金の支払いには充てられません。
- ②初年度納入金＋教材費を確認しておきましょう。
- ③入学前の費用には、教育ローンという方法もあります。今年度中に受け取り可能です。政府系の日本政策金融公庫や民間の金融機関で扱っています。
- ④ローンには審査があります。審査には時間がかかりますので、お早めに申し込んでください。
- ⑤入学後の学費には、奨学金が充てられます。日本学生支援機構の奨学金の説明は、本校のホームページに掲載しています。ご確認ください。